

歴史民俗資料館だより

令和7年1月号 睦月 仙台市歴史民俗資料館



〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7 TEL 022-295-3956 FAX 022-257-6401



謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年も皆様の御期待に応えるべく、仙台市歴史民俗資料館の職員一同、より一層業務に精励いたしますので、変わらぬ御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

季節展示「仙台の正月」

■令和7年2月2日（日）までの展示です。

清々しい新年を迎えました。

季節展示「仙台の正月」では、仙台地方の正月行事や正月膳について御紹介しています。

また、仙台の伝統的な門松を再現したものを展示しましたので、ぜひ御覧ください。



1月の行事です。ぜひ御参加ください。

○子ども講座 紙芝居「おらいのお正月」

1月12日（日） 11:00～、14:00～

※入館料が必要です。

○特別展「仙台駄菓子と石橋屋」展示解説

1月18日（土） 11:00～、14:00～

※30分程度の解説となります。入館料が必要です。

○冬のクイズラリー 1月19日（日）まで

※クイズに答えた方に、ささやかではありますがプレゼントを差し上げます。



仙台の初春の年中行事 睦月（1月）

正月の行事



- 1月1日 元日。年明けに行う最初の正月行事は年男の若水（その年、最初に汲んだ水）汲みである。囲炉裏に新しい火をおこして湧かし、神棚への供え物を作る。元朝参りは江戸時代以来の伝統行事で家・屋敷の神々、氏神、周辺の神社、鎮守様などに詣でる。
- 2日 年始回りを行う。この日は、買い初め、売り初めの日である。
- 3日 3日にととろ飯を食べることを3日とろろという。とろろを食べると風邪を引かないと言われている。
- 7日 年男が七草粥を作り神棚に供えてから家族で食べる。七草（この時期に採れる菜っ葉類）を「七草たたき、七たたき、唐土の鳥が渡らぬ先に七草たく、七たく」と唱えながら、6日の晩にまな板の包丁でたたいて刻んでおく。
※この歌には、新年の一年間が無病息災でいられるよう音を立てて害鳥を追い払うように、邪気や厄病を追い払うという意味が込められているという説があります。
- 8日 1年で最初の精進料理を神棚に供え、家族そろって食べる。これを初精進という。
- 11日 ノハジメ（農始め）あるいは、ノハダテといい、農家の仕事始めの日である。
- 14日 小正月の年越し行事。小正月の準備を始める。この日の行事は「後の年取り」「女の年取り」などと言うこともある。正月飾りはかつては屋敷神などに納めるものであった。今日では正月飾りは大崎八幡宮など各地の神社のどんと祭でお焚き上げをしているが、現在のように各地で盛んに行われているどんと祭は一部を除いて昭和40年代以降に始められた新しい行事である。
- 15日 小正月。小正月には農作祈願や作柄占いの内容の行事が多く、農耕儀礼から成っている。団子木（だんごぎ）、粟穂（あわぼ）などを飾る行事は、農村・町場ともに見られた。
- 18日 18日は団子木、粟穂を取り外す日。
- 20日 20日正月といい、正月行事の終わりの日として、農村も町場も団子木や正月の飾り物を外し、餅を神棚に供える日である。
- 28日 夜に神棚にご飯を供える、正月のお供えが終了する。

（参考文献：仙台市史 特別編6「民俗」）